

令和8(2026)年3月23日	資料6
令和7(2025)年度第2回栃木県地域医療構想調整会議	

県立病院あり方検討有識者会議の協議状況について

栃木県保健福祉部医療政策課

県立病院の再整備

R8.3.23 保健福祉部医療政策課

県立病院の今後のあり方・目指すべき方向性(提言)

- 本提言は、県により設置された「県立病院あり方検討有識者会議」において、県内の医療関係の有識者が、県立病院の今後のあり方や目指すべき方向性について、実現可能性や地域医療の現状を踏まえて検討を行い、現時点において効果的と思われる形をまとめたもの。

(1) 診療機能

- 現在の県立病院が有する専門的な診療機能(がん医療、リハビリテーション医療、精神科医療)については、今後も地域からの求めに応じた一定程度の役割を担うこと。
- 高齢化に伴う併存症患者の増加及び県の政策医療における重要課題(救急医療、災害医療、新興感染症対応等)へ対応するためには、「県立病院の総合病院化^{*}」が必要であること。

^{*}大学病院のような全ての領域において専門的な診療科を備えた総合病院ではなく、多疾患併存を有する高齢者に対し、救急医療を含め適切な総合医療を提供できる診療機能等を備えた病院を指す。

(2) 整備場所

- 現在の県立病院の立地場所、他の医療機関との地域バランス及び整備期間中における診療機能の継続性を考慮しながら、地域医療構想を踏まえた上で、今後の検討を進めていくこと。

(3) 病床規模

- 現在の許可病床数より削減することを基本として、将来を見据えた医療需要等を含め、地域医療構想を踏まえた上で、今後の検討を進めていくこと。

(4) 人材確保

- 労働力人口の減少や医療従事者の働き方の変化に伴い、よりいっそう医療従事者の確保が難しくなることから、幅広く経験を積み、将来のキャリア形成を図ることができる研修教育環境を整えるなど、魅力を備えた病院の整備が必要であること。

(5) 地域医療構想の推進

- 県立病院の総合病院化の進め方は、人材確保等の観点から「県立病院以外の病院との統合による総合病院化」が望ましいこと。
- 宇都宮医療圏の3次救急の医療機関等を支え、2次救急や高齢者救急の機能等の総合診療機能を備えていること、また、県の政策医療における重要課題(救急医療、災害医療、新興感染症対応等)の解決、加えて、現在の県立病院の立地場所や他の医療機関との地域バランスを考慮すると「国立病院機構栃木医療センター」との統合が望ましいこと。
- がんセンター及び岡本台病院においては、病院施設の老朽化の進行により、診療機能への影響も生じていることから、関係機関等と早期に協議を進めるなどし、地域医療構想を踏まえながら、必要な医療提供体制の確保に向けて、可及的速やかに県立病院の再編整備を推進していくこと。
- 「県立病院」の再編整備であることから、宇都宮医療圏だけではなく、県全域の県民が安心して暮らせる医療提供体制の充実・強化に資するものとする。

(6) 経営の効率化

- 経営の効率化、医療機能の強化及び持続可能な医療提供体制を確保するため、県立病院の3法人(及び統合する場合は統合先の病院を含めて)全てについて、同一法人化(機構化)を図ることが望ましいこと。

県立病院の今後のあり方・目指すべき方向性の姿

※有識者会議の議論・提言に基づき作成したものであり、今後、基本構想策定等の中で、整備方針を固めていく必要あり

県立病院が目指すべき方向性

県民から信頼される病院として、将来に渡って良質な医療を効率的に提供し、県民が安心して暮らせるとちぎづくりに貢献する

1. 高齢社会（高齢者救急・医療）に対応した病院

・高齢者の増加に伴う併存症や救急等の医療ニーズへ対応

2. 災害や新興感染症の発生時に、率先して対応できる病院

・災害や新興感染症の発生時における医療を確保、提供

3. 現在の各病院の特性や専門性を活かした病院

・がん医療、リハビリテーション医療及び精神科医療の各専門領域を活かし、総合診療機能を備えた医療を提供

4. 医療従事者が集まる魅力ある病院

・研修教育環境及び県養成医師への支援を充実

5. 経営が安定し、将来にわたって持続可能な病院

・現在、病院ごとに設立している3つの地方独立行政法人を統合することで、経費の節減や事務の効率化等を図り経営を効率化
・将来の医療需要を見据え、現在の許可病床数より病床数を削減

再編統合のイメージ図



今後の進め方(基本構想策定に向けた委員会の設置)

設置目的

- 「県立病院のあり方に関する検討報告書」の内容をベースに、新県立病院の整備に係る基本構想の策定に関する必要な意見聴取を行う

検討内容

- 新病院の診療機能、病床数、整備場所、事業スケジュール、収支計画など

検討体制(予定)

- 広く県民の声を県立病院の再整備に反映するため、今年度の委員に加え、県議会や市町、関係団体等にも検討に加わっていただくことを想定

検討スケジュール(予定)

- 令和8年度は3～4回程度、会議の開催を予定